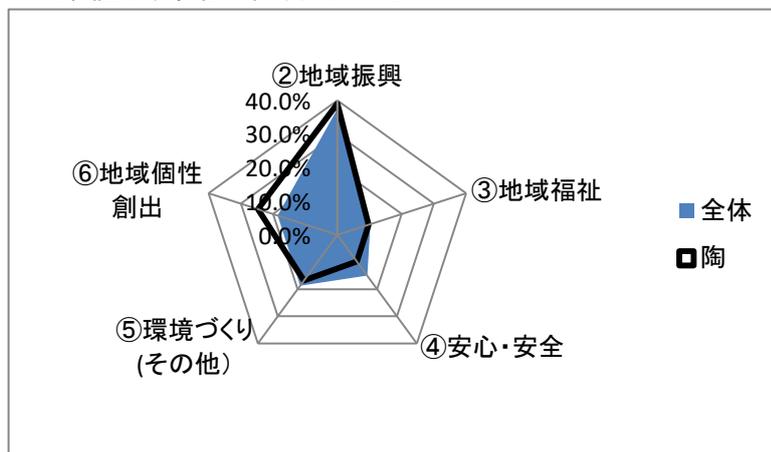


陶連合自治会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

■ 地域の情報

地域人口	2,384人	自治会数	16
世帯数	992世帯	自治会加入率	71.6%

※数値は、令和3年4月1日のもの



■ 決算状況

交付金配分枠	10,177,000 円
交付金決算額	10,177,000 円
その他収入	67,045 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	3,950,190 円
②地域振興	1,153,100 円
③地域福祉	286,839 円
④安心・安全	289,017 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,339,000 円
⑤環境づくり(その他)	497,154 円
⑥地域個性創出	728,745 円
決算総額	10,244,045 円

■ 地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画における“陶の将来像”である「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」を目指し、様々な年齢層が一緒になり、「オール陶」の体制で地域づくりを積極的に進めました。

■ 総括

(1)2大イベントの「陶地区民運動会」「陶ふれあいまつり」が新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となったが、ふれあいまつりの代替事業として、ふれあいまつり実行委員会の若者グループを中心に、ふれあいまつりの当初から現在までの写真約7000枚の中から、ふれあいまつりのテーマごとに写真を抽出してカレンダーを作成し全戸配布しました。

(2)コロナ禍において、屋外作業で三密を避けながら小学生～高齢者まで例年とほぼ同数の参加者で、区内の国道、県道周辺や通学路及び中央公園の清掃活動「クリーン作戦」を実施する事ができました。

■ 分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	「人材発掘、人材育成」「ふれあい行事の開催」「活動グループの育成」「広報活動の推進」
③ 地域福祉	「子育て支援の推進」「三世代交流の推進」「小規模福祉の輪づくり」「高齢者のサポート」「健康管理活動・保健講座」
④ 安心・安全	「反射鏡設置・修復(道路環境の整備)」「自主防災活動の推進」「交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)」
⑤ 環境づくり	「土木工事:法定外公共物」「陶クリーン作戦(道路環境美化)」
⑥ 地域個性創出	「再発見「素晴らしい陶」」「陶ふるさと大学(史楽会)」「文化財保護活動」「陶ブランドの立ち上げ」「コミュニティ・スクールの支援」

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	ふれあい行事の開催	決算額	389,389円
	目的	多数の地区民が参加する行事を通じて、親睦、交流を図り、ふれあいづくりを推進します。		
	実施内容	夏フェスの年齢層拡大、陶ふれあい祭とMusic陶来楽夢再合体し素人学習発表会の実施。		
	実施時期	①4月(地区民運動会)、②8月(夏フェス)、③11月(ふれあいまつり)④9月、2月(友遊カフェ)。		
	参加人数	1,800人		
	成果	①～④の行事は、コロナで中止となりました。②の夏フェスは冬まで延期したが、コロナ終息とならなかったため、次年度夏フェス用に調理器具を先行投資しました。③はコロナで中止となったため、実行委員会の若者メンバーが代替案のカレンダーを作成し全戸配布しました。また、行事を映像に残すための機器も整備しました。		
	評価	度重なる「行事中止」の中で、形を変えた行事実施となりました。		
今後に向けて	来年度もコロナ禍での行事が予想されるので今年度の経験を活かし、行事の実施について工夫が必要と考えています。			
②	事業名	自主防災活動の推進	決算額	213,741円
	目的	地区内に自主防災組織を設け地区民に自主防災のPRを進めます。		
	実施内容	①「自主防災活動の大切」で新任役員研修会実施。②「命を守る行動」として火災警報器の交換設置334個を消防団と協力実施。③「陶小と合同避難訓練」として教室から運動場に避難し消火訓練実施。④「土嚢づくり」消防団と共同で50袋の土嚢を作成。		
	実施時期	① 4月、②9月、③11月、④12月		
	参加人数	①19人、②30人、③93人、④21人		
	成果	10年前の火災警報器を交換という形の違う「防災・命を守る」行動として334個交換。		
	評価	コロナ禍での防災活動訓練を工夫して実施することができました。		
今後に向けて	大雨、台風を想定した避難訓練内容等を盛り込みながら体制の強化を図ります。			
③	事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)	決算額	497,154円
	目的	国道、県道、市道周辺や通学路をきれいにして、道路環境を美化します。		
	実施内容	地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施しました。		
	実施時期	7月、11月、2月、9月(中央公園)		
	参加人数	597人		
	成果	高齢者の参加で道路法面草刈り機・ブローワーを整備し作業の安全と効率を高めました。		
	評価	中央公園・中学通学路の草刈りで、小・中学の先生・生徒の参加が多くなりました。		
今後に向けて	更に作業工程、方法の見直しをしながら、環境美化に努めます。			